

動物の診察室から

○47○

1月の金曜日、「乳び胸」の手術をしてほしいと電話がありました。「乳び胸」とは、胸のリンパ管から脂肪を含むリンパ液が漏れ出て、牛乳のような白い液体が、胸腔内に溜まってしまう病気です。

2日前に胸の中の液体を抜いてもらつたので手術が必要とのことで、月曜日の夕方に来院したいと言われました。

吸が苦しそうで状態はあまり良くありませんでした。

2日前に胸の中の液体を抜いてもらつたので手術が必要とのことで、月曜日の夕方に来院したいと言われました。

手術まで（上）

深刻な容体 家族に説明



クウちゃんのため献血をする小梅ちゃん

ため、クウちゃんの心臓は周りから圧迫され十分な拍動ができていませんでした。

クウちゃんの手術は、まず胸を開いて心臓膜を

せたのです。

そのため、クウちゃん

の手術を行っていきました。その日は、手術に対応するだけの時間的余裕がありませんでしたので、

パ液が溜まる部位を切除する方法です。

その場合は、何回も

胸の水を抜くだけにし、

そして、翌日の午前中か

ら小梅ちゃんの血液を輸

血して、午後からの予定

はすべて空けて、クウち

ゃんの手術を行うことに

なりました。

乳び胸は胸に液体が溜まるため、何もしないと呼吸が苦しくなり、死んでしまう病気で、治療もその動物の状態により対応する方法が違つてきます。そして検査が必要なため、夕方からですと十分な時間が取れませんので、前日に入院して、翌日の朝から検査の予です。また手術の場合も

た。エックス線検査でもかなりの液体が胸の中に溜まつていました。

当然全身麻酔が必要です。クウちゃんの状態は大変悪いこと、手術をしても回復しない場合もあるのです。

翌朝から、クウちゃんの検査が行われました。そして、なるべく早く手術を行う必要がありましたが。

心臓は周囲を心臓膜という膜で包まれているのですが、クウちゃんは、胸の中だけでなく、心臓と心臓膜の間にも液体が溜まついました。その

定を入れました。
そして日曜日、お父さん、お母さん、お嬢さん2人でわんちゃんをつれてこられました。その子の名前は「クウちゃん」。もうすぐ2歳になる、かわいいブーダルの女の子です。外から見ても、呼吸が苦しそうで状態はあまり良くありませんでした。

クウちゃんの手術は、まず胸を開いて心臓膜を

せたのです。その後腹部から胸に入るところのリンパ管を結紮します。そして、腹腔内の、リンパ液が溜まる部位を切除する方法です。

その場合は、何回も胸の水を抜くだけにし、そして、翌日の午前中から小梅ちゃんの血液を輸血して、午後からの予定

はすべて空けて、クウちゃんの手術を行うことになりました。